

柳家三亀介・銀太郎による獅子舞のご披露

2/8 土

獅子舞は、日本各地の正月行事や晴れの日に舞われる伝統芸能で、獅子に頭をかまれると、その年は無病息災で元気に過ごせるという言い伝えがあります。

瑞祥歌のにぎわい

開館 20 周年を寿ぎ、祝い唄の数々を歌と踊りでお楽しみください。そして、この日のために作曲した記念の曲「ふたば恋唄」を発表します！皆さま、ぜひ一緒に歌って盛り上がりましょう。

日時 ◆ 2月8日(土) 10:30 ~ 11:30

出演 ◆ 柳家三亀介、銀太郎

端唄 華房流 華の会 社中 宗家 華房真子 家元 華房小真

会場 ◆ 1階大広間 ※当日先着自由席

柳家三亀介(やなぎやみきすけ) / 日本舞踊
平成5年に銀之城一座を旗揚げ(座長)、同年 Office りらを設立。「藤十郎の恋」など舞台多数、中学生日記や東海ラジオ(名作ドラマ劇場)で活躍。エルミタージュやワシントンの桜まつりなど世界9ヶ国で「獅子舞」を上演。日本舞踊端唄流師範・瑞鳳とよ之丞、名古屋瑞祥伝統芸能寿獅子舞「柳獅会」会主・柳家三亀介。名古屋放送芸能家協議会専務理事、愛知芸術文化協会 ANET 理事。



端唄 華房流 華の会 (はうた はなぶさりゅう はなのかい)
江戸期より伝わる端唄・小唄を中心に、名古屋の伝統芸能「正調名古屋甚句」「熱神戸節」「都々逸」の演奏・指導・伝承に力を入れ、舞台・テレビ・ラジオに多数出演し、やっとかめ文化祭、愛知国民文化祭ほか多くの自治体からの演奏依頼を受け積極的に活動している。名古屋の伝統文化と江戸期の伝統芸能を親しみやすく伝承・保存するため、名古屋を中心に稽古場を設け、全国で演奏活動・指導し、後進の育成に力を入れている。



宗家 華房真子 (はなぶさまさこ) 家元 華房小真 (はなぶさこまさ)



成澤布美子ひとり語り「十二人の貞奴」

2/9 日

日本の女優第一号と謳われた川上貞奴が生誕して153年。女性として嫺やかに、けれど強く！波乱万丈に生きた貞奴の人生に携わった人々の証言として、「川上貞奴」の様々な側面を、成澤布美子の想像豊かな視点も交えて、一人語りを行います。

日時 ◆ 2月9日(日) 10:30 ~、14:00 ~
※開場は各30分前 公演時間 約70分

出演/脚本 ◆ 成澤布美子

演出 ◆ ふじたあさや 音楽 ◆ 藤本直生久

協力 ◆ 加藤敦雄

会場 ◆ 1階大広間 ※当日先着自由席



成澤布美子(なりさわふみこ)
NHK-FM「歌謡スクランブル」DJ&構成など、フリーアナウンサー・放送作家を経て、子育て中に人形劇と出逢い、市民劇団「劇団わが町」で劇作家・演出家のふじたあさや氏と出会い、師事。現在は司会者・俳優・表現ワークショップ講師・脚本・演出・ライターなど、表現活動は多岐に渡る。あらら企画代表、日本児童青少年演劇協会会員、日本演劇教育連盟会員、教育支援人材認証協会「こども支援王」。



展示 川上貞奴の愛した雛人形とお琴

貞奴が大切にしていた雛人形はとて小さいけれど、繊細な職人技で作られています。

また、お琴にも飾りが施されています。

期間 ◆ 2月19日(水) ~ 2月24日(月・振)

会場 ◆ 1階展示室 協力 ◆ 成田山貞照寺

※同時期開催で「福よせ雛」の展示もあります。



展示 貞奴オンパレード

貞奴の生きた時代に思いをはせて、現代に遺る貞奴の愛用品や資料などを展示します。

期間 ◆ 2月8日(土) ~ 2月14日(金) 会場 ◆ 1階展示室、2階和室 協力 ◆ 成田山貞照寺



蘇水煌煌 ~「オペラ貞奴」から桃介・貞の Aria と二重唱~

2/8 土

二人の木曾川水力発電ドラマを高らかに歌い上げます。

日時 ◆ 2月8日(土) 14:00 ~ 15:00

出演 ◆ 貞奴 金光順子(ソプラノ)、桃介 岡部敬太郎(バリトン)

津田佳世子(ピアノ)、大谷泰史(エレクトーン)

会場 ◆ 1階大広間 ※当日先着自由席

金光順子(かねみつじゅんこ)
創作オペラ「貞奴」プロジェクト代表。日本演奏連盟および名古屋演奏家ソサエティ会員。岐阜県で開催された二度の国民文化祭において、1999年にオペラ「鏡の森の物語」企画制作委員を務め、2024年には恵那峡でオペラ貞奴の大井ダム竣工100周年記念公演を率いた。

岡部敬太郎(おかべけいたろう)
国立音楽大学卒業、ジュリアード音楽院で学ぶ。ニューヨークの Amato Opera 専属歌手として活躍。オペラ貞奴では音二郎役から桃介役まで歌いこなす。



創作オペラ「貞奴」プロジェクトは、川上貞奴が自ら創建した菩提寺・貞照寺がある岐阜県各務原市で、地元のソプラノ歌手・金光順子を中心に、その生涯をオリジナルのオペラとして制作・上演する活動を約15年間続けてきた草の根オペラの市民団体です。今回の演奏では、川上貞奴が福沢桃介に協力して取り組んだ木曾川の水力発電事業にフォーカスした楽曲を中心に演奏します。約100年前のドラマチックな大仕事を思い浮かべながら、どうぞお楽しみください。



金光順子 岡部敬太郎

開館20周年 文学者コレクション展

二葉館の2階には「郷土ゆかりの文学資料室」があり、年間を通じて様々な文学者を展示紹介しています。今回は、収集された文学収蔵品の展示と共に、歴代の文学展を紹介します。

期間 ◆ 2月5日(水) ~ 3月9日(日) 会場 ◆ 2階展示室



リーディングライブ『そうか、もう君はいないのか』

2/16 日

作家・城山三郎が、妻 容子との思い出をつづった『そうか、もう君はいないのか』をヴァイオリンの調べとともに朗読します。

日時 ◆ 2月16日(日) 11:00 ~、14:00 ~
※開場は各30分前 公演時間 約60分

出演 ◆ 榊原忠美(俳優)、熊谷祥子(ヴァイオリニスト)

会場 ◆ 1階大広間 定員 ◆ 各回30名

申込 ◆ 1月28日(火) 10:00 ~ 文化のみち二葉館へ電話

榊原忠美(さかきばらただよし)
表現を追求して演劇と共に朗読も行なっている。「ドン・キホーテ」(セルバンテス作)や「イノック・アーデン」(アルフレッド・テニスン作)などを公演。(劇団クセック ACT 所属)



熊谷祥子(くまがいしょうこ)
東京音楽大学卒業後、ベルギー王国歌劇劇場管弦楽団に入団。ベルギーのみならず、ドイツ・フランス・チェコなど各地で演奏。現在は名古屋バロックオーケストラのコンサートマスターを務めている。

